



# 木々



今年の抱負  
 国家公務員共済組合連合会  
 名城病院長 早川 哲夫

「良い医療を安全、確実に提供する」ことを名城病院の使命としております。今年も医療の質と安全の向上をめざして、職員一同努力致します。皆様方の御協力、御支援をよろしくお願ひします。

昨年は最新式の64列MDCTを導入し、CTによる画像診断の精度が向上し、その結果、より適確な治療ができ、皆様方のお役に立てたと思います。カテーテルを挿入しないで、心臓の血管の細くなった所が手に取るようにわかり、心筋梗塞などの心臓の病気の治療が、早く、確実にできました。このほか、脊椎疾患、腸閉塞、肺癌の診療にも大いに役立ちました。

今年には画像診断のもう一つの有力な武器であるMRIの性能を上げるために、新しいMRIを導入できればと、考えています。実現すれば、脳卒中の早期診断、筋肉、関節、神経、消化器などに対するCTや超音波の弱点を補い、診療内容の一段の向上が期待できます。

DPCという病気や治療法ごとに一日あたり一定額を支払う「包括払い制」が平成十五年四月から大学病院などの大病院で試験的に始まりました。医療費抑制

をめざした対策の一つで、現在は急性期病院が対象となっています。名城病院もDPC導入のための試験的調査に協力した結果、DPC導入可能な条件を備えた病院として評価されました。今春にDPC適用範囲拡大の方針が国として決定すれば、名城病院もDPC参加病院になるでしょう。DPCになると、患者さんの入院期間は今までより短くなり、手術も待ち日数も、術後の入院期間も短くなります。その分、今までよりも、食事や歩行開始も早くなります。人によっては治りかけて退院させられたと感じることもあります。これは、少しでも早く、もとの日常生活にもどるために、患者さんのまわりの人々が一致協力することです。ある意味では、これこそが患者中心の医療といえます。DPC導入に際して皆様方の御協力をお願い申し上げます。

春には七人の新しい臨床研修医をはじめ、看護師など多くの人々が名城病院に参加します。春とともに名城病院も新鮮な空気にあふれ、活気づくものと期待しております。新しいスタッフを一日も早く、立派な職人、社会人に育てたいと思っております。温かい御支援、御協力をお願いいたします。

**ちよっと健診**

【ご案内】  
 1階ロビー  
 “ちよっと健診”受付

【受付時間】  
 9:00～14:00

## どなたでも気軽に受けていただける “ちよっと健診” 開始しました。

当院では11月1日から、どなたでもお気軽にお手頃な値段で検査を受けていただける“ちよっと健診”を行っています。  
 その内容は、肝機能、高脂血症、腎・尿路、心臓(心不全)、貧血、糖尿病、前立腺、甲状腺、癌の9種類の検査に分けております。約60分で結果をお渡しします。

- ◆診察を受けるまでもないが気になる方、
  - ◆ドックで気になる項目があって経過をみている方、
  - ◆付き添いで病院に来られた方で待ち時間を利用して等、
- お気軽に受けて頂けます。

“ちよっと健診”のご案内は1階ロビーの“ちよっと健診”受付に置いてあります。皆様のご利用をお待ちいたしております。  
 【健診料】例えば、糖尿病検査は1,500円～



## 尿路結石の予防法

～おもに食生活について考える～

泌尿器科部長  
池内 隆人



突然の腹部の激痛を伴う上部尿路結石症は、ヒポクラテスの時代から知られ、第二次世界大戦後わが国でもその発生頻度は急増しています。現在では壮年期男性の約10人に1人が罹患し、5年再発率は約40%にも達しています。その発生原因は、食生活をはじめとする生活習慣に起因している事が多いため、その予防についてお話しさせていただきます。

まず食生活から結石にならないようにするためには、朝昼夕の3食のバランスをとり、朝食欠食、夕食過食を是正する事が大切です。また夕食から就寝までの間隔をあけ、出来れば4時間程度を目標に考えましょう。そして①動物性蛋白質の過剰摂取を控えること、②一定量(600~800mg/日)のカルシウムを摂取すること、③シュウ酸(ホウレンソウ、タケノ

コ、モロヘイヤ、チョコレート、紅茶、コーヒーなどに豊富に含まれています。)・塩分(10g/日以下)・脂肪の過剰摂取を制限すること、④炭水化物を摂取(穀物摂取をすすめ砂糖の摂取を控える)することが重要です。

また、常日頃から水分を多く摂取し尿量を増加させることは、結石成分や発生原因の如何を問わず再発予防の基本と言えます。

水分摂取量の目安は食事以外に1日2000ml以上とし、1日尿量2000ml以上を目標にします。水分の補給源としては、尿中に結石形成の促進物質(カルシウム、シュウ酸、尿酸など)を過剰排泄させるものは避けなければなりません。たとえば清涼飲料水は砂糖が多く含まれ、その過剰摂取は尿中カルシウム排泄を増加させ、コーヒーも尿中尿酸排泄を増加させる

ため、共に結石形成促進に働きます。またアルコール、特にビールで水分補給することは一時的な利尿効果があるものの、プリン体負荷により尿中尿酸排泄の増加やその後の脱水につながるため過剰な摂取は慎んで下さい。日本人の生活習慣からは、水道水やシュウ酸含有量の少ない麦茶やほうじ茶などの茶類が最も適していると思われれます。

また果物や野菜に多く含まれているクエン酸の適量摂取も効果があると言われてはいますが、同時にシュウ酸も摂取することになります。したがって食物からクエン酸を多量に摂取しようとするより、動物性蛋白質や砂糖の過剰摂取を控え、尿中クエン酸排泄を増加させる方が理に適っていると言えます。

尿路結石症は結石形成促進因子と抑制因子のバランスが崩れて起こる疾患です。罹患した経験のある方は、これを機会に一度食生活を改めてみてはいかがでしょうか。

## 移動図書を設置して

5階産婦人科病棟  
恒川久美子・鶴田 章子  
楠本 陽子・島澤 幸江

昨年院内の小集団活動として取組み、皆さんの御協力により始めることができた移動図書が1年経ち大変好評を得ています。産婦人科患者さんのおみに関わらず他科の患者さん、面会に来られたご家族にも大変好評で、貸出しノートは3冊目に突入しています。移動図書に取り組んだきっかけは切迫早産で入院経験のあったスタッフの長年の思いでした。当病棟は産婦人科を主科にしており、約2割の方が切迫流産・早産で入院しています。この疾患は安静が第一の治療です。この事により患者さん

はトイレ・洗面以外はベッド上での安静臥床が必要となり、一日の大半が安静時間となります。そのために眠ってしまう、テレビを見る、本を読む等して強いられた安静時間を過ごしています。

妊娠は病気ではありません。本来ならば子供を授かった喜びに包まれ全妊娠経過を送り、児の誕生を迎えるはずでした。しかし切迫流産・早産患者さんは思いがけなく入院することとなり、不安な入院生活を送ります。初めに不安を抱いていた患者さんは病状が落ち着くと、安静を強いられている事へのストレスを感じるようになります。妊娠中のストレスは児への影響も考え、な



るべく軽減させたいものです。移動図書を始めたことにより安静時間を暇だと感じるストレスを軽減させることができました。

最近の産科領域では、お母さんたちへのサービスがとても重視されています。これから名城病院がお母さんたちから選ばれるためにもサービスの向上に努められたらと思います。





## 勝田英介

かつだ えいすけ

平成17年11月より愛知医科大学病院から臨床研修医として名城病院へ赴任いたしました、勝田英介と申します。大学病院で1年と半年の研修を経て、院外研修の制度を利用し、市中病院での経験を得たいと思いやってまいりました。これから半年間、プライマリ・ケアを中心に様々なことにトライしていきたいと思っております。「勤勉に誠実に」を心に刻み、医療に取り組みますのでどうか宜しくお願い致します。



## 大橋雅玄

おおはし まさはる

この11月から愛知医科大学病院よりこちら名城病院で臨床研修をさせていただいております、大橋と申します。これまでは、大学病院で母校という甘えもあり、ぬくぬくとぬるま湯に浸っていた私ですが、現在は呼吸器内科で鈴木清先生の下、牧野先生や小笠原先生にご指導いただいて、毎日充実した日々を送っております。半年という短い期間ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

### 105歳登山隊奮戦記

用度施設課  
澤川 良之助



最近、中高年を中心とした登山ブームが到来しているという。斯く言う私も20年近い空白期間をおき一昨年から登山を再開した。単独を主に、用度施設課の木村、高坂、栄養士の中島をメンバーに、恵那山、御岳、北岳、空木岳～木曾駒という山を登ってきたが、特に記憶に残っている奥穂高岳から西穂高岳までの縦走報告を行いたい。同行者は中島で2人合わせて105歳という高齢であった。初日は新穂高温泉から白出沢を登り奥穂高岳まで約8時間の行動である。登山当日の朝方は雨がちらつく曇り空だったが、翌日は雲海が広がる快晴であった。日の出前に奥穂高岳に登り待つこと10分、雲海から登るご来光を拝む。周囲の山々が深い陰影の中から刻々姿を現わしてくる。遠くを見れば白馬岳から連なる北アルプスの峰嶺が一望できるではないか。(写真)正面に槍ヶ岳、左を見れば笠ヶ岳と天空を含めた360度の風景が眼前に広がっている。

景色を堪能し、いざ出発する。

西穂高岳までの縦走路は全て岩また岩。ちなみにこのルートは一般登山道の最難関ルートと言われ、毎年転落事故がおきている。困難な通過場所の一つに尾根が両側に100m以上切れ落ちている馬の背があるが、夢中でいつの間にか通過してしまう。次いであの名高い岩峰のジャンダルムだが、ここは難なく登りきる。また90度の直登となる天狗のCOLなどを、岩登りの基本である3点確保を忠実に守り通過する。ここでの一番の大敵は油断である。他にも随所に危険箇所があるため、どんなに疲れていても気だけは抜けない。一瞬の転倒は即転落につながるからだ。岩場の縦走は常に緊張感を保ちながら歩くため、西穂高岳に着く頃には疲労困憊となり、そこから平坦地を歩くロープウェイ駅までのなんと長かったことか。全歩行時間約9時間のうちの3～4時間をその間に要したが、「雲の平」のような山上の草原地帯を歩くの

とは別の魅力と楽しさがあり、いつかたまたもう一度登りたいと思っている。

さて、登山の再開には思わぬ副産物があった。それは順調に増え続けてきた体重が、減量の意図もないのに1年半で5kg減ったことだ。とはいっても標準体重になっただけなのだが、贅肉で隠れていた腹筋が少し見えてきたときは、ちょっとうれしかった。

皆さんもいかがですか。月に1、2度の東海自然歩道程度の山登りでも、続けるとやせられますよ。それに、柄にもなく「自然」や「人間」や「人生」と言ったことを自分なりに考えるようにもなるみたいです。(人生の黄昏と言うなかれ!) また、写真や花に興味を持ち、趣味の世界が広がる人も、私は違いますが、大勢いるようです。仕事も大切ですが、何でも構わないので自分の興味のある世界を広げることも必要だと思うのですが、いかがでしょうか。







## 第54回共済医学会

ICU・透析室師長  
藤本 小夜子

10月26・27日に長崎県佐世保市ハウステンボスにおいて第54回共済医学会が開催されました。

ハウステンボス内の花畑にはマリーゴールドの花が咲き又、園内はクリスマスの飾り付けがされており、日が落ちライトアップされるととてもきれいでした。夜には花火もあげられ楽しむことができました。



発表はユトレヒトプラザ内の6会場にて行われましたが、会場内は整備されており、会場案内とてもわかりやすかったです。

今学会は「連合会病院の発展と運営の安定を目指して」という総合テーマの下、一般演題340題において、各病院が安全で望ましい医療を目指し努力した成果などが発表され活発な質疑応答が行われていました。当院はそれぞれの部門において、13題の発表を行ってきました。特別講演で、長崎総合科学大学のブライアン・パークガフニ教授により「国際貿易港長崎の秘話」と題して、国際交流の中で発展した長崎の文化に注目し、面白おかしく又、とても上手

でわかりやすい日本語での講演でした。

学会終了後の懇親会では、よさこいの踊りと長崎くんち名物の籠踊りが披露され、賑やかで楽しく過ごすことができ、他の連合会の病院との親睦をはかることが出来たのではないのでしょうか。

今回は大阪となります。今後も研究を行った成果を積極的に発表していきたいと思えます。

### 編集後記



今年は成年。最近のペットブームを反映してなのか、我が家に今年送られてきた年賀状にもマイドッグの写真が掲載されたものが多くありました。かく言う我が家もワンコ3匹と共にすごしています。子供が成長した今ではすっかりワンコ中心(?)の生活です。昔から「夫婦喧嘩は犬も食わない」と言われますが、我が家は夫婦円満にワンコたちが一役買ってくれています。成年にあやかって皆さんにとっても病院にとっても明るく円満な年になりますように。

(R.H)

### 名城病院診療等のご案内

#### ■診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科  
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科  
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311  
内線2132 にお問い合わせ下さい。URL <http://www.kkr.or.jp/meijo>

※医療福祉に関するお問い合わせは、医療福祉相談室 内線5105まで

#### ■診察受付時間

新患受付 午前8:30~11:30まで  
再来受付 午前8:00~11:30まで

#### ■面会時間

平日 午後0:30~8:00まで  
土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで  
午後0:30~1:30まで  
②ペビエの面会は、午後3:30~4:30まで  
午後6:30~7:30まで の3回です。  
③ICU室への面会は30分以内に限らせていただきます。

#### ■診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日  
年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(11月6日)

#### ■所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1  
TEL (052)201-5311 FAX (052)201-5318